

# ボクの田園都市構想・補足 具体編

## —— 情熱とやさしさのまちづくり ——

二町の最少合併は、暖かく、人の温もりが感じられる  
身近な行政の在り方ができます。

あべとしかつは子や孫に将来を託せる

「人肌の行政」を目指します。

人口知能が進化していくなか、

むしろ、つたなくとも自ら考え発言していくことが

私たちのまちづくりに必要になっています。

さあ、いっしょにときめきの庄内町にしていきましょう。



## あべとしかつ

その1  
教育

### 地域を考える若者を 育てます「読書の町宣言」

- 町立図書館は、文科省「子どもの読書活動優秀実践図書館」（平成19年）の全国表彰の実績があります。住民の考える力を育むためにも「読書の町宣言」を掲げます。
- 庄内総合高校への支援を強化します。小中学校との連携事業を継続し、出口（就職・進学）対策を応援しつつ、中高一貫校の誘致の可能性も視野に入れ、なんとしても**庄内町から高校は撤退させない**決意で向かいます。
- 一層の奨学金の充実に努めるとともに、若者定住促進に町の奨学金利用者のお子さんが卒業後庄内町に在籍の場合、一定の**返済減免**を行います。その財源確保のためにも、**町長の退職金の受け取りは辞退**します。
- 役場若手職員中心に「まちづくり」プロジェクトチームを設置し、その案をもとに、**地域を考える若者を育てます。**

その2

産業振興

### 町独自の 有機農業認定制度

- 前年まで西野集落の生産組合長（農業）の私。農家の起業・経営支援はもちろん、国の補助金と連動して**使い道のよい補助金**のあり方、**農家の懐**に残る農林業施策を実行いたします。
- 町独自の**有機農業認定制度**を設け、農畜産物の全国ブランド化を目指します。
- 商業振興に関しては「商い」の原点を大切に、個々の経営努力を積極的に応援します。
- 商業中心部と周辺農村部をつなぎ、購買力と活力を促していく商業圏の実現を目指し、町内で営業している商店・事業者と商工観光課との連携を強化します。
- 起業を志す若者に、空き店舗の提供等**の支援をはじめます。

その3  
福祉  
子育て

## 弱者への視点を 忘れない

- 弱者への視点を忘れない、という原点に立ちます。
- なにより老後の不安に寄り添い、介護施設の充実をはかり、老後のさまざまな声を受け止め、うるおいのある施策を実行します。
- 「町民と行政のチームワークの子育て」を旗印に保育園の充実をはかり子育ての応援を惜しみません。

その4  
観光

## 庄内町ならではの ロマン(物語)の創設

- 合併記念事業として、縦長地形を生かし、酒田市に隣接している飛龍伝説の金沼神社をスタートし北月山荘目指して駆け上る、**庄内町縦断学区対抗老若男女駅伝**を創設します。
- 歴史の清川、清河八郎(妻お蓮、新撰組、藤沢周平との関連も含め)のロマン(物語)を創り、また、清流立谷沢川にはアイドル起用も視野にいれ、全国に発信します。

- 清流立谷沢川を安らぎの川・親水空間として住民の憩い場、そして町の誇りにします。
- 既存の施設を有効活用・再PRをします。県内唯一のサーキット場カートソレイユを利用し、ポケテたまるか老後いつまでも安全運転モータースポーツの開催を検討し、**車が必須のこの地域、高齢者の事故防止のための安全運転**を応援するとともに、免許返納者への支援も行います。
- 演奏家や表現者・民俗芸能・地道に地域づくり活動を企画してきた方々を応援します。西庁舎または響ホールに小舞台・演奏の際に活用できる少人数用の収納式観客席を設置し、庄内町ならではの、ときめきの空間を提供します。どうしても鑑賞事業に偏りがちな支援事業ですが、創作表現者のための応援も強化いたします。
- 公共の建物は財務の健全化を前提しつつ、特例債等の補助金有効利用も含め、熟慮かつ迅速に対応します。



## あべとしかつ後援会事務所

連絡先

〒999-7768 庄内町西野字西野94  
TEL・FAX **0234-43-4365**  
(阿部利勝宅)

ホームページ  
toshikatsu.jp ▶

